

ふれあい通信



妻と一緒に

大楽 義勝 ●大八出身
●千葉支部

両親と日本酒の思い出

私が日本酒(甘酒)を初めて口にしたのは5歳の頃でした。母の背中におんぶされ、離れの湯殿から母屋に戻ると、母は米びつのある引戸を開けて日本酒の一升を湯飲み茶碗に注ぎ美味しそうに呑み、私にも「義勝も呑むか、温ったまるぞ」と言われた時でした。その頃は「ブドウ液」という一升瓶に入ったジュースぐらいしか呑んだことがなかったので、今でも鮮明に覚えています。

父とは、私が千葉県から帰省した時、夕方4時頃から、深夜までいろいろな思い出話などしながら楽しい酒を呑んでいました。一番多く呑んだのは、今から30年位前で親子3人で一晩に5升空けたことがありました。大楽系統は先祖代々、酒が強く父は朝から呑んでいることもたびたびあり

ました。

私が父に最後のお酒を注いだのは、父が亡くなる4カ月前でした。この時も父は朝から湯呑み茶碗で私が持参した酒を笑顔でおいしそうに呑みながら「俺は84歳で、随分長生きするなー」と言うので、私が「父ちゃんは若い頃からいっぱい苦労してきたから、先祖様が長生きさせているんだよ」と言うと、父は笑顔で「あーそうかい」と本当に嬉しそうに酒を呑んでいたのですが、この会話が私と父の最後となりました。

父の急逝きゅうせいの知らせを聞き、妻と2人で帰省し父の顔を見ましたが、今まで見たことのないような笑顔でしたので、4カ月前の私との会話を思い出しながら旅立ったのではないかと心の中で思いました。

私はこの春で42年間勤務して来た千葉県警察を退職しますが、最後まで奉職できたのは故郷小野町でいつもうさぎ程に叱咤しつた激励してくれていた両親のお陰と感謝しています。

私の3人の子どもも独立し、4人の孫にも恵まれ、これからは妻と2人のんびり、笑顔と感謝の心を忘れることなく平凡に暮らしていきたいと思います。



政府統計



工業統計キャラクター・コウちゃん

平成 30 年工業統計調査を実施します

- 平成30年工業統計調査は、従業者4人以上のすべての製造事業所を対象に、平成30年6月1日時点で実施します。
- 工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。
- 調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国および地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。
- 調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)にすることは絶対にありません。
- 調査の趣旨・必要性をご理解いただき、ご回答をよろしく申し上げます。

経済産業省・福島県・小野町